

**【栽培のポイント】**

- 排水対策の徹底
- 土づくりの実践と的確な基肥施用
- 適正な播種
- 除草剤の使用等による雑草防除
- 赤かび病等の適期防除
- 適正な収穫と乾燥調製

**【目標】 高品質・安定収量の確保**

○品質目標	1等比率 90%以上 整粒比率 80%以上 品質ランク A格付け	容積重 690g/L以上 細麦率 2.2mm(篩)下に2.0%以下 白度 43以上 硝子率 40%以下	○単収目標 350kg/10a
-------	----------------------------------------	--------------------------------------------------------------	-----------------

**<収量構成要素>**

- ・m<sup>2</sup>当穂数 450本  
(苗立数150本×1株穂数3本)
- ・1穂収量 1.04g

播種1か月後の目標茎数 570本程度/m<sup>2</sup>

苗立数 140~200本/m<sup>2</sup>

越冬前(12/1頃)の目標茎数 600~800本/m<sup>2</sup>

図 越冬前(12/1)の茎数と穂数の関係  
注) 生育観測ほ (H20~R6年産)

結実日数(平年) 45日

積算温度(平年) 763℃

m<sup>2</sup>穂数 450本

穂長 95cm程度

月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月						
生育		発芽	分けつ期				幼穂形成期	節間伸長期	出穂期	成熟期						
作業名	①排水対策	②土壌改良資材等の施用	③種子の準備	④播種作業 耕起・播種・基肥施用⑥ 1日で完了する	⑤雑草防除 (除草剤の的確な使用)	⑥年内追肥 (播種1か月後)	⑦排水溝の手直し (随時実施)	※年内2回目追肥 (茎数不足かつ葉色が淡い場合)	⑦排水溝の手直し (融雪水の排水)	⑥消雪後追肥 (消雪後直ちに施用)	⑥止葉展開期追肥 (止葉展開期II出穂の11日前)	⑧赤かび病防除① (穂摘期)	⑧赤かび病防除② (1回目から7日後)	⑨収穫	⑩乾燥	⑪調製

積雪期間

**① 排水対策**

- ・稲刈り後、早急に額縁排水と基幹排水溝を設置する
- ・透水性の悪いほ場では、心土破砕を行う

①水口はしっかり止める ②額縁排水溝は早めに設置する

③7~8m間隔の基幹排水溝を設置 ④排水口は深く掘り下げる

⑤サブソイラ等による心土破砕

**④ 播種作業**

- ・土壌の乾いた時に、耕起、砕土・整地・播種・作溝の1連作業を1日で完了する
- ・播種適期は10月上旬。遅くとも10月中旬までに播き終える

畦幅 3m以内  
排水不良ほ場では、畦幅を狭くする

- ・ほ場が乾き、条件の良いときに作溝する
- ・溝は耕盤(約20cm)より深く掘る
- ・溝は必ず深く掘り下げた排水口に連結する

**⑥ 施肥**

★肥効調節型基肥栽培の場合  
・窒素13.5kg/10aを基準として、地力に応じて施用する

★分施の場合(全層の場合)

施肥	時期	窒素施用量(kg/10a)
基肥	播種時	5~6
年内追肥	播種1か月後(11月上旬)	4
消雪後追肥	消雪直後	3~4
止葉展開期追肥	出穂11日前頃	0~2

ただし、追肥は生育に応じて加減する

★リン酸、加里  
少なくとも子実持出相当量(リン酸4~5kg/10a、加里3~4kg/10a)を施用する

**⑤ 雑草防除**

- ・土壌処理除草剤の効果を高めるため、砕土率の向上に努める
- ・雑草の種類や発生状況に応じ、効果の高い除草剤を的確に使用する
- ・ほ場内に発生したカラスノエンドウやハマダイコン等は速やかに除去する

★種子消毒の方法

風呂浸湯法	42~43℃の風呂湯に入れ、10時間浸漬する(自然に温度を下げる)
循環式催芽器	45℃の温湯に入れ、2.5時間浸漬する(時間厳守)
薬剤粉衣	ベンレートT水和剤20の場合:乾燥種子重量の0.5%粉衣 乾燥種子10kgに対して、水200mL程度加用し、薬剤を均一に混和する

**⑨ 収穫**

- ・収穫前のほ場巡回や荷受時の入念な検査による異物の混入を防止する
- ・子実、茎葉が完全に黄化し、子実水分が30%以下になったら収穫開始

**⑩ 乾燥**

- ・毎時乾減率1.0%以内の乾燥速度で仕上げ水分13.0%とする

**⑪ 調製**

- ・2.3mmの篩目を使用し、容積重の高い麦に仕上げる

**② 土壌改良資材等の施用**

- ・pH6.0~6.5を目標に、耕起前に石灰質資材を施用する

**③ 種子の準備**

★播種量の目安

播種期	目標苗立数(本/m <sup>2</sup> )	播種量の目安(kg/10a)	
		ドリル播	表面散播
9月6半旬	140	6.0	6.5
10月上旬	150	6.5	7.0
10月中旬	200	8.5	9.0

栽培管理のポイント